

2018

7

高岡市医師会報

TAKAOKA MEDICAL ASSOCIATION BULLETIN

2018. 7 No.505



CONTENTS

・ 理事会第4・5回	2
・ 第6回 高岡ねがいみち駅伝	4
・ 公的病院だより（厚生連高岡病院）	6
・ 委員会報告	7
・ 訪問看護ステーションだより	8
・ 会員の動向	9
・ 地域保健だより・病診連携室	10
・ 産業保健だより	11
・ 検査センターだより	11
・ 新任職員紹介	13
・ 寄稿「刑部式W1ファイルへグレーピングホルダーであなたの資料は百科事典になる!～」	14
・ 高岡市急患医療センターだより	16
・ 市医のあゆみ	17
・ 予定表・編集後記	18

(理)(事)(会)(報)(告)**第 4 回 (平成30年5月23日)****協 議**

1) 第 163 回定時総会の開催及び提出議案について

6月22日(金)定例会終了後に開催することを了承。

議事日程は以下。

(1) 報告

・平成29年度事業報告

(2) 議案審議

第1号議案 平成29年度高岡市医師会収支決算の件

第2号議案 平成29年度高岡市医師会臨床検査センター収支決算の件

第3号議案 平成29年度高岡市医師会訪問看護ステーション収支決算の件

第4号議案 平成29年度高岡市医師会看護専門学校収支決算の件

第5号議案 平成29年度高岡市急患医療センター収支決算の件

第6号議案 平成29年度高岡市医師会特別会計収支決算の件

(3) 報告

・平成30年度事業計画

・平成30年度収支予算

2) 平成29年度事業報告について

提出された案を一部追加・修正し6月22日の定時総会で報告することを了承。

3) 平成29年度決算について

案のとおり6月22日の定時総会で審議することを了承。

4) 監事会の開催について

6月8日の理事会終了後に開催することを了承。

5) 公的病院との連絡協議会の開催及び提出議題について

7月19日(木)ホテルニューオータニ高岡で開催することを了承。

協議事項は、救急医療、病診連携・在宅医療関係、乳幼児健診出場依頼、がん検診について。

6) RUN伴2018富山の後援について

後援を了承。

7) その他

・高岡市医師会の学術講演会等への共催、協賛、後援について

提出された内規案を一部修正し運用することを了承。

・介護保険・訪問看護委員会委員の追加について

笠島學先生を委員に追加することを了承。

報 告

1) 諸会議報告

・5/17 在宅医療連携協議会

2) その他

・内科医会総会、保険診療セミナー、懇親会について

・会員の動向

(理)(事)(会)(報)(告)**第 5 回 (平成30年6月8日)****協 議**

- 1) 旧高岡市医師会館の土地・建物の利用について
 当会が高岡市に無償貸与している土地・無償譲渡した建物を、富山県済生会高岡病院が、「済生会高岡福祉・保育総合センター（仮称）」として利用することを承認。
- 2) 定例会について
 6月22日に開催する定例会について、以下のとおりお知らせすることを了承。
 ア 会員の表彰
 イ 旧高岡市医師会館の土地・建物の利用について
 ウ 会員の動向
 エ その他
- 3) 平成30年度高岡地域精神保健福祉推進協議会役員の推薦について
- 4) 高岡市健康づくり推進協議会専門部会（健康たかおか輝きプラン（第2次）推進部会）の委員推薦について
- 5) 厚生連高岡病院地域医療支援研修委員会委員の推薦について
 3) 4) 5) について、酒井理事を推薦することを確認。
- 6) 富山県鍼灸マッサージ師会学術講演会講師依頼について
 清水邦芳先生を推薦することを確認。
- 7) 平成29年度救急医療補助金配分について
 例年のとおり配分することを了承。
- 8) 平成30年度全国医師会共同利用施設 施設長検査健診管理者連絡協議会並びに検査健診管理者研修会について
 職員の参加を了承。
- 9) 中元贈呈先について
 提出された案のとおり贈呈することを了承。
- 10) 「ねんりんピック富山2018」の開催に係る医療救護協力について
 11/4（日）は役員を中心に協力体制を構成し、
 11/5（月）は各公的病院に協力体制をお願いすることを確認。
- 11) 平成30年度富山県総合防災訓練について
 9/2（日）の訓練に参加することを確認。
- 12) 高岡医療圏肝臓病市民公開講座の共催について
 共催を了承。
- 13) 平成30年度特定健診秋受診の実施について
 実施に向けて内容を検討していくことを確認。

報 告

- 1) 委員会報告
 ・ 5/28 急患医療センター管理運営委員会
- 2) 諸会議報告
 ・ 6/4 県郡市医師会協議会
- 3) その他
 ・ 会員の動向

第6回 高岡ねがいみち駅伝 チーム医療たかおか快走!

なのはなクリニック 林 智彦



平成30年5月13日(日)に第6回高岡ねがいみち駅伝が開催されました。高岡ねがいみち駅伝とは、射水神社と高岡大仏、関野神社を結ぶ通称「ねがいみち(願い道)」を8周するコース(総距離20.4km)を1チーム4~8人でタスキを繋いで走る駅伝です。今年で6回目を迎え、過去最多の2701人、946組が参加しました。



合計20.4km(1区2.9km/2~8区2.5km)

昨年は高岡市医師会チームとして初めて参加しました。そもそも、臨床検査センター担当理事の白崎文朗先生と理事会開催前の雑談中に、思いのほかマラソンの話で盛り上がりってしまった場の勢いで出場することになりましたので、てっきり1回で終了かと思っておりました。ところが……。

平成30年1月に高岡市三師会の懇親会があったようでした。その中で昨年高岡市医師会チームとして「ねがいみち駅伝」へ参加したことが話題になったようでした。

たまたまマラソンを趣味としている歯科医師会の牧野先生が興味を示され歯科医師会の参加が早々に決まり、その後参加する流れに逆らえなくなった薬剤師会の山本会長が飲み込まれてしまったようでした。今年は酒宴の席で三師会の合同チームでの参加という方向が決まったようでした。またしても場の勢いで参加することになってしまったのでした。

メンバーの選考では、まずはエースランナーとして昨年に続き厚生センター所長の守





田万寿夫先生をお誘いし快諾していただきました。歯科医師会からはフルマラソン経験者の牧野明先生と小原彰浩先生、薬剤師会からは浜野邦彦先生、竹澤栄和先生、紅一点の澤井麻奈先生、そして我が医師会からは今年3月にフルマラソンで自己ベストを出し好調を継続している白崎文朗先生、そして自称高岡市医師会の設楽悠太こと林智彦の8人で合同チーム「チーム医療たかおか」として臨むことになりました。

参加するからには、参加者、観客から注目を集め、我々の存在感を示さなくてはなりません。そこで、今年はユニフォームとしては手術帽と背中にそれぞれ「高岡市医師会」「高岡市歯科医師会」「高岡市薬剤師会」「高岡厚生センター」とプリントした手術用スクラブシャツを選択し、見た目でも医療関係者だと分かる格好にしました。また、医師会としては特定健診およびがん検診の受診率向上に繋がりたいという思いがあり、白崎先生と私は昨年と同様に肩から「特定健診、がん検診、健診受けてね！」と書かれた襷をかけて走ることにしました。

この駅伝のために応援グッズを作成し、朝早くから駆けつけていただいた医師会事務局、臨床検査センター、訪問看護ステーションの皆様ありがとうございました。ご多忙にも関わらず藤田会長、金粕副会長、民野先生、泉先生にも応援に駆けつけていただきました。また雨の中写真撮影のために来ていただいた成瀬副会長ありがとうございました。多くの熱い声援のお陰で今年も無事完走できました。タイムは1時間42分20秒と昨年よりも4分30秒ほど早くなっていました。成績は男女混成の部の参加163チーム中41位と昨年より順位を上げて終えることができました。

走り終えた後、射水神社にて「一人でも多くの市民の皆さんが、がん検診、特定健診を受けて健康に過ごせますように!」、そして「高岡市の医療連携が進みますように!」と合同チーム全員で祈願しました。



公的病院だより (厚生連高岡病院)

糖尿病・内分泌内科 科長 島 孝佑

先生方には平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。2018年度より、人事異動等により当院糖尿病・内分泌内科の体制が変わりましたので案内させていただきます。

まず当科では糖尿病内分泌疾患に対して以下4点に重点を置き診療を進めてまいります。

1. 多職種協働による糖尿病チーム医療を実践します。

当院には糖尿病専門医だけでなく糖尿病療養指導士が17人勤務しており、個人の努力だけでは対応しがたい生活習慣の改善をチームでサポートします。当院には外来指導室を設け、患者個別の悩みにも対応します。

2. 緊密に病診連携し、糖尿病合併症管理の質を高めます。

血糖管理だけでなく、糖尿病合併症の管理に関しても連携医療を強化していきます。長期にわたる外来通院では忘れがちな腎臓や血管合併症の検査を集中的に行います。また、腎症や足病を持つ方に対して、積極的に看護師、栄養士からなるチームによる支援を行っています。

3. 複雑な内分泌疾患に対応します。

当院は内分泌専門医が在籍し、内分泌学会の連携教育施設に認定されています。甲状腺、副腎、下垂体といった複雑な疾患にも対応し、適切な診断、治療を行います。また、診断治療に難渋する症例に関しても、金沢大学附属病院内分泌センターと連携し、最先端の治療を提供していきます。

4. かたかご会(患者友の会)を運営し、患者療養生活をサポートします。当院に通院していな

くても当院と連携中の患者さんは参加可能です。長期にわたる糖尿病治療は決して楽なものではありませんので、患者のストレス軽減や治療を続けていく上での気づきになればと思っています。

地域連携医療を円滑に進めるため、クリニカルパスを見直し、「糖尿病教育入院10日間パス」を作成しました。ほとんどの患者さんは、インスリン導入したとしても標準10日以内で退院します。入院中には、毎日看護師、栄養士の指導、合併症検査を行います。入院が困難な患者さんのために、「外来糖尿病合併症チェックパス」を作成中です。次のような患者さんの紹介をお待ちしております。

1. HbA1c 8-9%以上のコントロール不良症例 (10日間以内の教育入院を検討します)
2. 合併症進行例 (透析予防指導などチームで指導します)
3. 多剤併用症例 (チームで生活習慣改善にとりくみ減薬します)
4. いつ合併症チェックしたか不明な症例 (一日でも網膜症、腎症、足、腹部CTなど行います)

また当院は各分野の専門施設として、以前から糖尿病学会教育認定施設であり、2018年度より新たに内分泌学会連携医療施設(金沢大学附属病院を基幹病院とする)にも認定され、専門を目指す研修医、専攻医の教育に対応しています。

体制が変わったばかりで、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

委 員 会 報 告

●がん検診委員会 平成30年5月22日

担当理事 寺田 光 宏
副担当 堀野 彰 均

	胃がん検診		大腸がん 検 診	前立腺がん 検 診		肺がん検診
	X線	内視鏡				
受 診 者	37名	333名	903名	0名	受 診 者	1205名
異 常 な し	28名	85名	821名	0名	精 検 不 要	1166名
要 観 察	6名	212名			再 検 査	0名
要 精 査	3名	36名	82名	0名	要 精 検	39名
精密検査受診者	2名	3名	16名	0名	精密検査受診者	20名
が ん 症 例	0名	2名	0名	0名	が ん 症 例	1名

4月のがん症例は、胃がん2名(内視鏡)、肺がん1名でした。

表紙のことば

宇野内科医院 宇野 義 知

「ブルガリアのバラ祭り」

ブルガリアのバラ祭りを見学する機会を得た。“バラの香水”の元となる原料の生産は「バラの谷カザンラク」が全世界の9割を占めているという。バラの花摘みは、すべて人の手によるもので、機械化はできず、そのため極めて高価になるようです。バラの花摘みは5月上旬から6月上旬までとされていて、今年の収穫を祝う村をあげてのバラ祭りは6月3日に行われた。町の中心部のメイン通りを会場として、各種グループ、団体が趣向をこらした衣装を着ての行進が1時間にわたり続く。

子供から老人まで潑刺と行進し、このお祭りを楽しんでいる様は、まことに微笑ましい光景だった。なお、民族衣装を着て、周辺のギリシャ、トルコ、ルーマニア、セルビア等の国々の参加もあり、その華やかさに目を奪われたものです。

訪問看護ステーションだより

担当理事 吉田耕司郎

訪問看護ステーションです。

Hさんは 90 歳代後半の女性 両大腿骨骨折術後、糖尿病で、要介護 1 です。

35 年前に夫に先立たれ、ひとり暮らしです。室内は 何かにつながりながら、ゆっくり歩いています。

以前はヘルパーさんが入浴介助していたのですが、入浴中に意識消失が何度かあり、現在は、訪問看護が週 2 回入浴介助しています。その他、週 2 回ヘルパーさんが入っています。

今までは、週 6 回午前中、市内の次男さんが顔を出し、週 1 回は隣県の長男さんが、電車とバスを乗り継いで来ておられました。

近所の人も、1 日 1 回は顔を出してくれます。食料や日常生活用品は近くのお店から配達もあります。

最近、血糖コントロール目的で入院され、1 日 1 回インスリン注射が必要となりました。

退院前カンファレンスを実施し、2 人の息子さんと訪問看護で曜日を分担し、確実にインスリン注射と内服管理をすることにしました。長男さんが週 2 回 次男さんが週 3 回 訪問看護が週 2 回の分担です。

退院直後は、息子さん達の注射手技の確認で、時間を合わせて訪問しました。

退院後は、かかりつけ医のクリニックへ息子さんの送迎で月 1 回通院しています。

今日もHさんの訪問です。

部屋に入ると、寝室の床に衣類が散乱。変な胸騒ぎ。その後、カチャッと音がしました。「いらっしやい」Hさんは、飄々とした顔で、トイレから戻ってこられました。

「あんた、そろそろ薄手の服を探そうと思って 引っ張り出してたら、始末できなくなった。」

「びっくりしたわ。強盗の仕業かと思った。ああよかった、なんともなくて。明日、ヘルパーさん来るから、手伝ってもらったら？とりあえず、今日の着替え探そうか」

年代物の箆笥の、重い重い引き出しを、結構な力を出し入れします。

半そでの下着と、薄手のポロシャツを、やっと発掘しました。細い身体で、Hさん、良く頑張ったなあ。

それから、Hさんお気に入りの浴室で入浴。何とか浴槽は跨げます。浴槽に浸かりながら、

「以前は、友人が遊びに来てくれた。でも、それぞれ皆、からだをこわして、来なくなった。そのうち、ハガキで、亡くなったことを知る。息子たちは良くしてくれるけど、男だし、そんなにいろいろ話さない。」

お風呂タイムは、いつもHさんの胸のうちを吐き出す、オンステージになっています。

「どうして自分は注射を毎日せんなん？息子たちもそんなに若くないし、迷惑かけたくない。飲み薬だけでいい。」

「そうねえ、先生にその気持ち話してみようかねえ。でも、息子さん、迷惑って思っているかなあ。」

「ふうん、70 すぎても、親離れしない息子達だねえ。そうそう、自分に急に何かあって、心臓止まって、冷たくなっていたら、たまたま見つけた人はびっくりするかねえ。」

そうきたか。「まあ、何があるかわからないからね。息子さん達とは、そんな話してるの？」無反応。補聴器外しているのだから聞こえないのかなあとと思ったら…「あんたたちは看護師だからまだ慌てんかもしれん。でも息子だったら腰を抜かす。向かいの家の人とか、ヘルパーさんとか、悲鳴上げる。」「結構そんなこと考えるの?」「そりゃーそうだよ。特に夜中、トイレでおきてから夜が長い。ラジオの歌番組聴いて、天井眺めながら、ラクにあの世に行けたらなあって。」Hさんは、細い腕で、手すりにつながり、ゆっくり浴槽から立ち上がります。

「死ぬまで、歩いてトイレに行きたい、この風呂の湯船に浸かりたい、そのために寝たきりにならんように頑張っている。それがダメなら、今、ポックリいきたいわ。ははは。」Hさんの想いは、いつも変わりません。

「まあ、今のままの体調で、足もとに注意して、無理しない。転んだらアウト!あと、もう少し、かわいく、気軽に、助けてって、言えるようになることが大事ななあ。」とHさんに話します。(自分のことは棚に上げ)

頑固で、頑張り屋さんのHさん。自分から肝心なことは言い出せないでしょう。近いうち、主治医や息子さん、ケアマネさんと、話す機会が持てるよう、声をかけていきましょうかね。

(文責 野田美加)

●5月の実績 (平成30年5月1日～31日)

	介護保険対象者		医療保険対象者
	65歳以上	40～64歳	
男性	40名	1名	15名
女性	54名	1名	17名
合計	94名	2名	32名

合計 128名
重複 3名

訪問回数
介護 547回
医療 211回
合計 758回

会員の動向

入会

月日	種別	氏名	科目	病・医院または勤務先
4/1	B3	あさい 義博 浅井 義博	研修医	高岡市民病院
4/1	B2a	とりた 宗義 鳥田 宗義	内・糖内	日本医師会に入会 (高陵クリニック)

異動

月日	種別	氏名	科目	異動の事由
4/1	B2a	あずま 滋 東 滋	糖	高岡市民病院 (厚生連高岡病院から)
4/1	B2b → B2a	しま 裕幹 島 裕幹	糖	会員区分変更 (厚生連高岡病院)
5/8	C	あずま 弘 東 弘		現住所変更

地域保健だより

担当理事 酒井 成

◇7月の地域保健・医療事業への協力について

・地域保健事業

内 容	日 程	場 所	出向医師名
健康相談	7月25日(水)	高岡市保健センター	酒井 成

・母子保健事業

内 容	実施日	出 向 医 師 名			
		小 児 科		整 形 外 科	
3か月児健診	7月5日(木)	上 勢 敬一郎	市 村 昇 悦	厚生連高岡病院	
	7月19日(木)	辻 春 江	紘 井 正 春		田 中 利 弘
1歳6か月児健診	7月3日(火)	今 村 博 明	清 水 道 郎		/
	7月10日(火)	荻 野 千鶴子	斉 藤 悠紀子		
	7月24日(火)	小 栗 絢 子	山 元 純 子		
3歳児健診	7月4日(水)	辻 隆 男	仲 岡 佐智子		
	7月18日(水)	佐久間 友 子	宮 崎 あゆみ		

病診連携室

◇オープン病床の利用率について

	2月	3月	4月	5月
高岡市民病院	18.6%	50.3%	10.7%	9.7%
厚生連高岡病院	49.3%	64.2%	39.7%	61.0%
済生会高岡病院	25.6%	10.6%	35.0%	17.7%
JCHO高岡ふしき病院	25.0%	44.0%	45.8%	54.8%

◇れんけいネット利用状況について

高岡市民病院	2月	3月	4月	5月
カルテ参照登録患者数	20名	20名	19名	14名
予約患者数	12名	25名	20名	22名

厚生連高岡病院	2月	3月	4月	5月
カルテ参照登録患者数	26名	30名	37名	53名
予約患者数	50名	55名	46名	53名

済生会高岡病院	2月	3月	4月	5月
カルテ参照登録患者数	14名	13名	11名	10名
予約患者数	6名	15名	7名	9名

産業保健だより

担当理事 杉森 成実

高岡地域産業保健センターでは、平成30年7月は下記のとおり活動を行います。
高岡市医師会で行う健康相談は予約制です。働く人への周知方ご協力をお願いいたします。

1 健康相談

実施日	時間	場所	担当相談医
7月6日	金 13:00 ~ 14:00	高岡市医師会	宮島 久仁
7月19日	木 13:00 ~ 14:00	高岡市医師会	林 治朗

2 個別訪問産業保健指導（職場巡視）

実施日	時間	事業内容	担当相談医
7月4日	水 13:00 ~	製袋	上野 一夫
7月5日	水 13:00 ~	金属加工・機械板金	東 貢
7月11日	水 13:00 ~	一般機械器具製造	一柳 健次 塚田 邦夫
7月12日	水 13:00 ~	一般機械器具製造	笠島 眞
7月25日	水 13:00 ~	特殊鋼精密鋳造品製造	坪田 聡
7月26日	水 13:00 ~	銅器製造	小関 支郎

検査センターだより

担当理事 白崎 文朗

特定健診時のお願い

当会臨床検査センターでは、特定健診期間中、先生方の医療機関に健診を受診された方々の情報を電話で確認させていただいております。

健診期間中のお忙しい中とは十分存じておりますが、特定健康診査の報告に必要な内容の確認です。何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

電話での問い合わせ例

検査センター職員A：「高岡市医師会臨床検査センターです。いつもご利用いただきありがとうございます。」

6月12日に特定健診を受診されたホンマル タロウさんのことでお電話いたしました。

特定健診の間診で11番目の質問の『運動や食生活の生活習慣を改善してみようと思いませんか』の答えを教えてくださいたいのですが。」



〇〇〇クリニックの窓口Bさん：「あら、抜けていましたか。しばらくお待ちください。」

.....

〇〇〇クリニックの窓口Bさん：「『思わない』」でお願いします。」

検査センター職員A：「ありがとうございます。お忙しいところまことに申し訳ありませんでした。」

記入漏れがないか、再度ご確認ください

健診依頼書① (市町村国保用)

提出用
20
20
M T W T F S S

記入漏れがないか、再度ご確認ください

社保およびその他の国保は健診依頼書②を使用してください。
QRコードがない場合は健診依頼書③を使用してください。

特定健康診査 問診票
後期高齢者健康診査

問診票の太線枠内 をご記入の上、実施機関に提出してください。

氏名	性別	1. 男	2. 女	生年月日	年齢
住所	保健番号				

No.	質問項目	回答	備考			
1	降圧を下げる薬を使用している	はい	5%以上			
2	降糖を下げる薬又はインスリン注射を使用している	はい	5%以上			
3	コレステロールや中性脂肪を下げる薬を服用している	はい	5%以上			
4	医師から脳卒中（脳出血、脳梗塞等）にかかっていると告知されたり治療を受けたことがある	はい	5%以上			
5	医師から心臓病（狭心症、心筋梗塞等）にかかっていると告知されたり治療を受けたことがある	はい	5%以上			
6	医師から、慢性腎臓病や腎不全にかかっていると告知されたり治療（人工透析など）を受けたことがある	はい	5%以上			
7	医師から腎臓と告知されたことがある	はい	5%以上			
8	現在タバコを習慣的に喫っている 喫煙10年以上、又は10年以上喫っている中で最近1ヶ月も喫っていない者	はい	5%以上			
9	右眼と左眼	1. 両眼健常 2. 両中眼 3. 両全盲	5%以上			
10	生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば利用する	はい	5%以上			
11	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか (1つのみ選択) 1: なし 2: 思う(6ヶ月以内) 3: 思う(近いうちに) 4: 取組み済み(6ヶ月未満) 5: すでに取組んでいる(6ヶ月以上)	1. なし	2. 思う(6ヶ月以内)	3. 思う(近いうちに)	4. 取組み済み(6ヶ月未満)	5. すでに取組んでいる(6ヶ月以上)

受診者の記入漏れはありませんか

忘れていませんか

生活習慣改善について保健指導の機会があれば利用する
運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか
(1つのみ選択) 1: なし 2: 思う(6ヶ月以内) 3: 思う(近いうちに)
4: 取組み済み(6ヶ月未満) 5: 取組み済み(6ヶ月以上)

採血時間 食後3.5時間未満 食後3.5~10時間未満 食後10時間以上

他覚症状

所見なし 頸動脈硬化 浮腫：顔面 浮腫：下肢

呼吸音異常 心音不純 不整脈あり

肝臓肥大 甲状腺肥大 前記以外の異常

(文責 荒井 栄)

新任職員紹介

事務局長 室谷 芳隆



本年度より事務局長の任に就かせていただいております室谷芳隆です。システムエンジニアとして地域に密着した仕事をいたしてまいりましたが、これまでに得た技術・知識と地域とのつながりを最大限に活かせる仕事をいただいたことを心より光栄に思うと同時に、期待に胸を膨らませている自分があります。

しかし、まだまだ不慣れなため、各方面にご迷惑をおかけしておりますが、先生方各位と職員の皆さんの支えに感謝しながら、日々の業務にあたらせていただいております。

趣味はブラジル音楽（7弦ギターに取り組んでおります）と料理です。

どうぞよろしくお願いいたします。

写真：ねがい道駅伝応援のスタッフのために作ったお弁当 10 食

- ・紅白ごはん（白米と酵素玄米）
- ・牛肉と豚肉のしぐれ煮
- ・炊きもの（南瓜、人参、隠元、椎茸、高野豆腐、海老）
- ・卵焼き



総務科 石崎友佳里



今年度から本会で働かせていただいております、石崎友佳里と申します。

性格は慎重で心配性ですが、反面、大雑把でものぐさなところもあります。読書が好きで、いまはもっぱら駅前の図書館で目についた本を読み漁っています。

本から知識を得て満足しがちなところを改めたいと思っており、頭でっかちから脱却するために、今年の4月から一人暮らしをはじめました。衣食住や生活習慣など、今まで疎かにしてきた基本的な部分を見直し、人としての土台部分を鍛え直すつもりで毎日を送っております。

座右の銘は「直心是道場」です。“学ぶ姿勢で事に当たれば、あらゆるものが成長の糧になる”というような意味で、頭でっかちな今の自分を変えたいと一念発起して以来、気が散って目移りしたときや、堪え精が尽きてうんざりしたときに自分を叱咤する戒めになっています。

いたらぬ点の多い未熟者ではありますが、医師会の一員として地元に貢献できるよう、精進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

寄稿

刑部式WIファイル

～グルーピングホルダーであなたの資料は百科事典になる!～

トモエクリニック院長 刑部 恒 男

プロローグ



このページに目をとめた人は、きっと机の上で資料の山でグチャグチャになり悩んでいる人だと思う。何らかの解決策があると思ひ読み始めたに違いない。そんな読者こそ、この方法は劇的な効果があるとことを保証する。

私の大学講師時代は教育者、研究者、救命救急医、臓器移植外科医など同時に多方面の仕事に従事していた。そのため膨大な資料の山に悩まされていた。どうにかしようと創意工夫した結果、書類の山を魔法のように一瞬に片づけることができる『ダブルインデックスファイル(WIファイル)』システムを開発した。

刑部式WIファイルが商品化された

2005年に「超ファイルの技術」(すばる舎)を出版した。私が30年前に考案したWIファイルについて説明した本で、幸いロングセラーになった。この方法に共感した文具大手本社から、WIファイル製品化の話が舞い込んだ。

私のWIファイルは事務用封筒の紙製であるが、今回美しいポリプロピレン製に生まれ変わり『グルーピングホルダー』の商品名で発売となった。

刑部式WIファイルをまったく知らない人のために、いったいどんなファイルなのか順を追って詳しく説明しよう。

グルーピング(仕事単位でパッケージする)

第1の特徴は『グルーピング』だ。整理の基本は規格統一だ。基本となるWIファイルは袋タイプの事務用封筒(角形2号)なので、紙資料、新聞、雑誌、本、メモ、領収書、DVD、SDカードなどあらゆるモノがA4型の大きさに規格統一できる。

一つのファイルの中に関連するあらゆるモノが収納できるので、仕事単位でパッケージすることが可能だ。入手した資料は仕事と記憶がつながっている。ある資料を探すとき、あの資料はあの仕事で使ったと簡単に思い出す。だから、仕事単位でグループ化されたものはそのままパッケージした状態で管理するのが良い。

ブックエンドでは時間順

(押し出しファイリング)

第2の特徴は、机上のブックエンドでは押し出しファイリングで『時間順』に並べるだけだ。分類の必要はない。

新しいファイルはブックエンドの左端に入れ、取り出して使ったファイルは元の場所に戻さないで、次々とブックエンドの左端に入れて行く。これを繰り返すと、いつも使うファイルは左端の手元にくるので仕事中に探

しものをすることがほとんどなくなる。

使わなくなって右端に追いやられたファイルで要らないモノはその場で捨て、必要なモノは保管場所へ移動させる。保管場所で大量のファイルを時間順で並べると目的のファイルがなかなか見つからない。そこで保管場所では別の工夫が必要となる。

キャビネットでは50音順 (辞書式)



ファイルの流れ

第3の特徴は、大量資料の保管場所である本棚やキャビネットでは『50音順』で単純に並べている

ことだ。分類する必要もないし、パソコン検索などの面倒な作業もない。アイウエオ順なので、辞書のようにスピーディーな検索ができる。

ダブルインデックスファイルで百科事典になる

(刑部式WIファイル)

第4の特徴は『ダブルインデックス』だ。1つのファイルに大項目と小項目の2つのインデックスを持ち、大項目にグループ名を入力することで、『50音順』検索でありながら、関連したファイルをグループにまとめて置くことができる。

「系統別分類」のように、関連したファイルが一瞬のうちに揃い、仕事が終わったらまとめて一度に戻すことができる。それでいてすべてを「50音順」に単純に並べるだけだから、分類不能なファイルに悩むこともなくなり、スピーディーな整理・検索が可能になる。まさに『百科事典』のような便利さだ！



グルーピングホルダー製品の活用

さまざまなタイプの『グルーピングホルダー』が商品化されたが、WIファイリングシステムに最も適した『ポケットタイプ』の2種類を購入するとよい。1セットに5冊なので、まずは2セットずつ各10冊を入手しよう。

刑部恒男著 [完全版] 超ファイルの技術

(すばる舎2017年) 最新刊出版

今回の製品化を記念して製品の活用法を加筆した[完全版] 超ファイルの技術(すばる舎2017年)がコラボ企画同時出版となったので、詳しく知りたい方は参考にしてください。



高岡市急患医療センターだより 担当理事 泉 祥子

受診患者の状況と患者満足度調査の実施

5月は、ゴールデンウィークを含め休日等は7日有りましたが、患者数は2,267人で、ここ5年間で一番少なく、前年同月比499人(前年同期比10.2%減)の減でした。診療科別累計患者数では、内科1,630人(前年比△101人)、小児科1,749人(△314人)、外科965人(△79人)でした。診療科別構成比では、内科・外科が1.7割・0.6割の増、小児科が2.3割の減でした。時間帯別では、午前597人(前年同月比△77人)、午後520人(△62人)、夜間1,227人(△360人)と、夜間が大きく減少しました。また、6月3日から16日まで実施した患者満足度調査結果に基づき、今後もより安心・安全な診療業務の推進に努めていきたいと思えます。(文責 宮崎 晃一)

時間帯別受診患者数

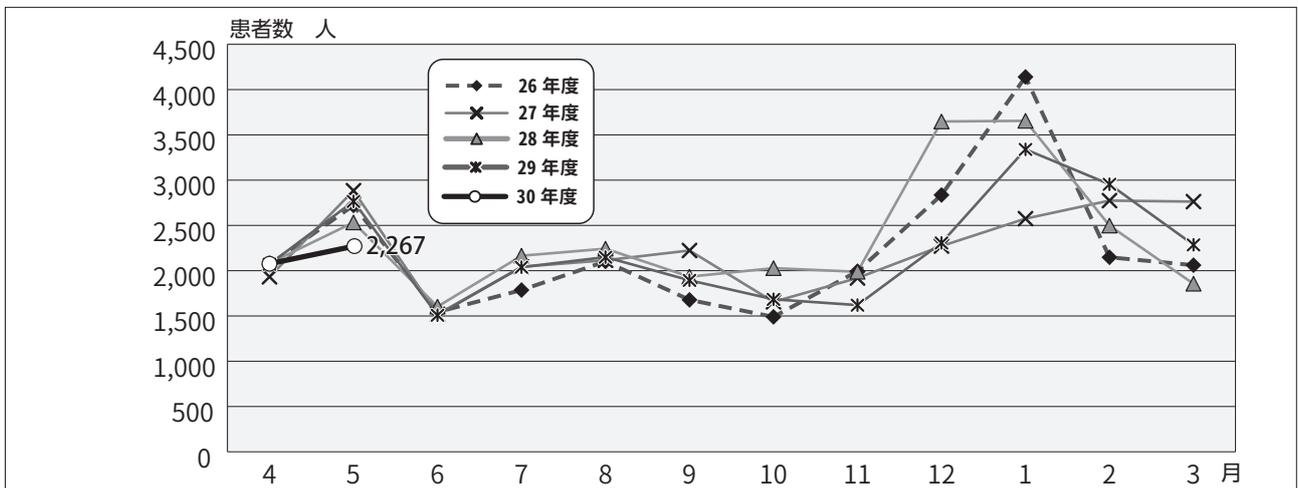
平成30年5月(単位:人)

月別	時間帯別	内科			小児科			外科			合計			転送患者数			
		初診	再診	計	初診	再診	計	初診	再診	計	初診	再診	計	二次病院			他院
														診療科	本人	救急車	
30年度 5月	午前	206	9	215	204	10	214	76	15	91	486	34	520	内	40	3	8
	午後	181	13	194	194	15	209	107	10	117	482	38	520	小	23	2	0
	夜間	458	18	476	430	40	470	275	6	281	1,163	64	1,227	外	13	0	7
	合計	845	40	885	828	65	893	458	31	489	2,131	136	2,267	合計	76	5	15
30年度 4~5月	午前	348	12	360	363	19	382	160	24	184	871	55	926	内	80	4	13
	午後	346	19	365	373	26	399	205	16	221	924	61	985	小	38	3	0
	夜間	880	25	905	904	64	968	551	9	560	2,335	98	2,433	外	34	0	15
	合計	1,574	56	1,630	1,640	109	1,749	916	49	965	4,130	214	4,344	合計	152	7	28
29年度 4~5月	午前	367	14	382	383	25	408	174	17	191	925	56	981	内	64	8	6
	午後	320	10	330	412	24	436	198	14	212	930	48	978	小	35	1	2
	夜間	997	22	1,019	1,133	86	1,219	620	21	641	2,750	129	2,879	外	33	3	36
	合計	1,685	46	1,731	1,928	135	2,063	992	52	1,044	4,605	233	4,838	合計	132	12	32

月別受診患者数の推移

(単位:人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	年間前年度比
26年度	2,067	2,721	1,543	1,786	2,102	1,678	1,490	1,994	2,836	4,140	2,148	2,061	26,566	0.5%
27年度	1,932	2,884	1,518	2,043	2,115	2,223	1,656	1,919	2,272	2,575	2,774	2,763	26,674	7.5%
28年度	2,082	2,533	1,603	2,165	2,243	1,934	2,028	1,988	3,648	3,655	2,498	1,856	28,233	△0.2%
29年度	2,072	2,766	1,509	2,039	2,150	1,894	1,684	1,620	2,307	3,340	2,955	2,286	26,622	0.2%
30年度	2,077	2,267											4,344	—
内 訳	内科	745	885										1,630	
	小児科	856	893										1,749	
	外科	476	489										965	



いししん 住宅ローン

3大疾病および8大疾病特約を付保できます

- これからマイホームを購入したい方
 - お借り換えをお考えの方
- いずれの方も歓迎します、是非ご相談ください。



**保証料・手数料
不要です!**

ご融資金額	1億円以内
ご融資期間	35年以内
ご融資利率	変動金利 0.95%
	5年期間固定 0.85%
	10年期間固定 1.05%
	(3大疾病および8大疾病特約付保は0.2%上乗せ)
ご返済方法	元金均等・元利均等(ボーナス併用可)
担保	購入物件に抵当権を設定させていただきます 火災保険に質権を設定させていただきます
申込時の必要書類	(資金用途に関する書類) 見積書、契約書等
	(収入に関する書類) 過去3期分の確定申告書(控)または源泉徴収票
	(担保に関する書類) 不動産登記簿謄本 公図 測量図等
	(その他) 他行借入の返済予定表等
備考	お借入の際は当組合に加入していただきます 8大疾病補償付債務返済支援保険の補償内容に つきましては当組合までお問合せください。

上記以外にも各種制度融資がございますので当組合のホームページをご覧ください。

富山県医師信用組合

TEL 076-429-6272 FAX 076-429-6467
http://www.toyamadcu.co.jp/

* 市医のあゆみ *

- | | |
|--|--|
| 5月16日 訪問看護ステーション事例検討会
高岡市民病院・医師会合同症例カンファレンス
肺がん検診読影会 | 28日 急患医療センター管理運営委員会 |
| 17日 在宅医療連携協議会 | 29日 胃がん内視鏡検診読影会 |
| 18日 定例会 | 30日 肺がん検診読影会 |
| 21日 厚生連高岡病院・医師会症例検討会 | 31日 高岡医療圏医師会役員懇談会 |
| 22日 フィルムカンファレンス
胃がん内視鏡検診読影会
がん検診委員会 | 6月5日 在宅医療談話会/ドクターネットかたかご会
胃がん内視鏡検診読影会 |
| 23日 理事会
肺がん検診読影会 | 6日 肺がん検診読影会 |
| 25日 特定健康診査説明会 | 7日 急患医療センター管理運営小委員会 |
| 27日 高岡医師グリーン会
ICTを用いた死亡診断等の取扱い説明会 | 8日 理事会 |
| | 9日 診療報酬明細書受付締切 |
| | 11日 済生会高岡病院症例検討会 |
| | 12日 JCHO高岡ふしき病院症例カンファレンス
胃がん内視鏡検診読影会 |
| | 13日 肺がん検診読影会 |

7月の

予 定 表

日	予定事項	時刻	場所
2日(月)	急患医療センター管理運営小委員会	19:30	急患医療センター
3日(火)	ドクターネットかたかご会 胃がん内視鏡検診読影会	19:30	当会
		19:30	当会
4日(水)	肺がん検診読影会	19:30	当会
6日(金)	訪問看護運営委員会 介護保険・訪問看護委員会	13:30	当会
		19:30	当会
8日(日)	高岡医師グリーン会	7:58	高岡カントリークラブ
10日(火)	診療報酬明細書受付締切 高岡地域産業保健センター運営協議会 胃がん内視鏡検診読影会 JCHO高岡ふしき病院症例カンファレンス	10:00	当会
		13:30	当会
		19:30	当会
		19:00	JCHO高岡ふしき病院
11日(水)	肺がん検診読影会	19:30	当会
13日(金)	理事会	19:30	当会
17日(火)	済生会高岡病院病診連携システム運営委員会 胃がん内視鏡検診読影会	19:00	ウイングウイング高岡
		19:30	当会
18日(水)	高岡市民病院・医師会合同症例カンファレンス 肺がん検診読影会	19:00	高岡市民病院
		19:30	当会
19日(木)	公的病院との連絡協議会	19:00	ホテルニューオータニ高岡
20日(金)	定例会	19:30	当会
22日(日)	在宅医療市民公開シンポジウム	13:30	イオンモール高岡
24日(火)	フィルムカンファレンス がん検診委員会 胃がん内視鏡検診読影会	19:00	当会
		19:30	当会
		19:30	当会
25日(水)	肺がん検診読影会 理事会	19:30	当会
		19:30	当会
29日(日)	内科医会総会	16:30	ホテルニューオータニ高岡
30日(月)	産業医研修会	19:30	当会
31日(火)	胃がん内視鏡検診読影会 介護保険主治医研修会三市打合せ会	19:30	当会
		19:30	当会

編集
後記

久々に大学のOB会に出席したときの話。現役医学生の多くから、「なぜ小児科医を選んだのか？」との質問を浴びました。もうウン十年前の話。記憶の彼方です。あえて思い起こすなら、まず、残念なことに受験真っ直中に友人が病気で亡くなってしまったこと。医学部に進路変更を決意する大きな出来事でした。そして、何にでも好奇心旺盛な子ども達の姿が好きだったこと。さらに究極の決め手は、小さな未熟児の極細血管にスパッと点滴針を挿入した、実習先での先輩医師の神業に一目惚れしたこともかもしれません。きっかけはともあれ、現在小児科医を続けていて後悔はありません。毎日、ピュアで容赦なく人を射貫くような赤ちゃんの視線を正面から浴びてエネルギーをもらい、覚えてたの言葉を駆使する子どもたちにはわざとチョッカイを出して、おしゃべりを楽しんでますヨ(ゝ-)☆ (A.M.)

発行所
高岡市医師会
〒931-0002 高岡市下関町四番五十六号
電話 (0766) 251706

発行人
高岡市医師会会長 藤田 一

印刷所
有限会社 米島印刷

高岡市医師会

ホームページアドレス <http://www.takaoka-med.org/> Eメールアドレス g-taka@toyama.med.or.jp